

## 2014年度下期 ANAグループ航空輸送事業計画を一部変更

### ～「デュアルハブモデル」のさらなる増強を進めてまいります～

ANAグループは、2014年度下期の航空輸送事業計画の一部を変更致しました。

ANAグループでは、今春の羽田空港の発着枠拡大を契機に、羽田を発着する国際線を大幅に拡充いたしました。これにより、首都圏と海外がさらに近くなったことに加え、国内線の基幹空港である羽田で乗り継ぐことにより、国内各地と海外各地との間を渡航する利便性が大きく向上しました。一方、成田においては、高まるアジア↔北米間の乗り継ぎニーズにもお応えするべく、乗り継ぎしやすいダイヤで北米線・アジア線のネットワークを拡充しており、北米～アジア間をご移動されるお客様にとって利便性が高いネットワークを設定しております。

上記の通り、ANAグループは、首都圏空港を中心とした「デュアルハブモデル」をベースとし、ネットワークキャリアとして国内外のお客様の利便性向上に努めておりますが、下期においてネットワークのさらなる充実を図ります。

国内線事業においては、羽田路線の新規開設や増便を行い「デュアルハブモデル」のさらなる増強を図りつつ、引き続き路線計画・運航機材の最適化を推進し、お客様の利便性向上に向け、国内線ネットワークの充実を進めてまいります。

国際線事業においては、需要動向に応じた路線の最適化、ならびに運航機材の最適配置による需給適合を行います。

国内線、国際線、貨物専用便の路線便数、運航機種等の詳細は以下の通りです。

これらの計画は関係当局の認可を前提としております。また、スケジュールは予定であり、都合により変更となる場合もございます。あらかじめご了承ください。

#### 1. 国内線

国内線ネットワークのさらなる拡充を図りつつ、時季ごとの需要動向を踏まえ、路線・マーケットに応じた運航機材の最適化を推進いたします。

##### (1) 新規開設・増便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝名古屋(中部)	2014年10月26日	－	1往復/日	新規開設
羽田＝沖縄	2014年10月26日	10往復/日	11往復/日	
羽田＝岡山	2014年10月26日	5往復/日	6往復/日	
羽田＝石垣	2015年2月1日～ 2015年3月28日	1往復/日	2往復/日	
伊丹＝福岡	2014年10月26日	5往復/日	7往復/日	※1
福岡＝沖縄	2014年10月26日	8往復/日	9往復/日	

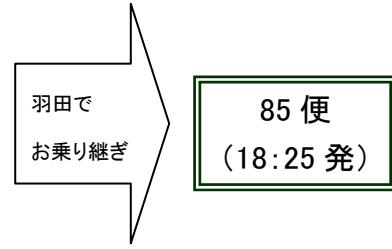
※1 一部、運航便数が異なる期間がございます。詳細につきましては ANA 時刻表または ANA SKY WEB をご確認ください。

### ◆羽田＝名古屋(中部)線 ダイヤ

便名	羽田発	名古屋着	便名	名古屋発	羽田着	運航機種	備考
85便	18:25	19:30	86便	07:50	08:50	B737-800	

・羽田空港において、以下の国際線から85便への乗り継ぎが可能です。

路線	便名	羽田着
ソウル(金浦)－羽田	1162便	14:45
ミュンヘン－羽田	276便	15:45
ロンドン－羽田	278便	15:55
フランクフルト－羽田	224便	16:15
パリー－羽田	216便	17:05



・羽田空港において、86便から以下の国際線への乗り継ぎが可能です。

路線	便名	羽田発
羽田－上海(虹桥)	1259便	10:05
羽田－ジャカルタ	855便	10:10
羽田－パリ	215便	10:40
羽田－シンガポール	841便	10:45
羽田－バンコク	847便	10:50
羽田－ロンドン	277便	11:40
羽田－フランクフルト	223便	11:55
羽田－ミュンヘン	275便	12:40
羽田－台北(松山)	1187便	12:40

### ◆羽田＝石垣線 増便ダイヤ

便名	羽田発	石垣着	便名	石垣発	羽田着	運航機種	備考
89便	07:20	10:55	90便	11:35	14:20	B767-300	※2

※2 一部、ダイヤが異なる期間がございます。詳細につきましては ANA 時刻表もしくは ANA SKY WEB をご確認ください。

### (2) 減便・期間運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝山口宇部	2014年10月26日	5往復/日	3往復/日	
伊丹＝札幌	2014年10月26日	4往復/日	3往復/日	※3
伊丹＝沖縄	2014年10月26日	3往復/日	2往復/日	※3
仙台＝札幌	2014年10月26日	4往復/日	3往復/日	

※3 一部、運航便数が異なる期間がございます。詳細につきましては ANA 時刻表または ANA SKY WEB をご確認ください。

## 2. 国際線

国際線では、旺盛な訪日需要および季節波動による需要環境に応じてアジア・中国路線を中心に運航機材を変更するほか、一部期間において成田＝成都線の減便を行います。

なお、2014年8月7日よりANAが世界に先駆けて運航を開始したボーイング787-9型機につきましては、2014年度内にあと2機の受領を計画しています。現在は国内線のみで運航していますが、2015年春からは国際線への投入を予定しております。

## (1)期間運休・期間減便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
成田＝成都	2014年10月26日	7往復/週	4往復/週	※4、5

※4 ウィンターダイヤ期間(2014年10月26日～2015年3月28日)は4往復/週に減便。成田発:月・水・金・土曜日運航、成都発:火・木・土・日曜日運航。

※5 2015年2月13日～2月28日はデイリー運航。

## (2)機材変更

路線	実施時期	現行		変更後		備考
		機材	週間便数	機材	週間便数	
羽田＝台北(松山)	2014年10月26日	B787-8 B767-300ER	7往復/週 7往復/週	B787-8	14往復/週	
羽田＝マニラ	2014年10月26日	B787-8	7往復/週	B767-300ER	7往復/週	
羽田＝ソウル(金浦)	2015年2月1日	B777-200ER B777-300ER	14往復/週 7往復/週	B787-8 B777-300ER	14往復/週 7往復/週	※6
成田＝上海(浦東)	2015年2月1日	B787-8 B767-300ER	14往復/週 7往復/週	B787-8 B767-300ER B777-200ER	7往復/週 7往復/週 7往復/週	※7

※6 NH1161/NH1162、NH1165/NH1166にボーイング787-8を投入予定。

※7 NH921/NH922にボーイング777-200ERを投入予定。

※ 当日の機材・運航状況により変更となる場合がございます。

## 3. 貨物専用便

フレイター10号機の導入を機に路線の見直しを行い、以下の通り新規開設・増便と減便・運休を実施致します。

羽田＝沖縄線は、従来の旅客機による運航からフレイター機による運航に変更し、首都圏発着需要や羽田発着国際・国内線からの接続需要に更にお応えしてまいります。

また、これまで経由便であった天津・大連線を直行便化し供給量を拡大、更に関西－沖縄線を1日2便に増便(火曜夜～土曜夜)し、沖縄貨物ハブネットワークを拡大します。

## (1)新規開設・増便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
成田－大連－関西	2014年10月13日	－	5片道/週	
関西－天津－関西	2014年10月13日	－	5片道/週	
関西－沖縄	2014年10月13日	6片道/週	11片道/週	
成田－沖縄	2014年10月13日	6片道/週	7片道/週	※1

※1 6片道はNCAによるエアラインチャーター便にて運航

## (2)減便・運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
関西－天津－大連－関西	2014年10月13日	6片道/週	1片道/週	
成田－バンコク－沖縄	2014年10月13日	6片道/週	－	

## (3)機材変更

路線	実施時期	現行		変更後		備考
		機材	週間便数	機材	週間便数	
羽田＝沖縄	2014年10月26日	B777-300 B787-8	6往復/週	B767-300F	6往復/週	